

令和3年度 学校評価 集計結果

令和3年度 学校評価 アンケートの概要

1. 実施期間 教員：令和3年11月（自己評価）、回答41人
保護者：令和3年11月中旬 用紙配付
生徒：令和3年11月 HRにて実施

2. 回答数

	保護者	生徒
1年生(48期生)	205人	231人
2年生(47期生)	206人	271人
3年生(46期生)	128人	247人
合計	539人	749人

3. 質問項目 大阪府教育委員会指定の必須項目を含めて実施

1. 自己評価(教員アンケート)の集計結果

(1) 分析の概要 いくつかの質問において、数値が前年比で大きく下降した。

1. 学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。(昨年度 78.8% → 今年度 68.3%)
2. 教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。(78.4% → 68.3%)
3. 授業において、指導方法の工夫・改善に努めている。(100% → 92.7%)
4. 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。(82.7% → 70.7%)
5. 生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。(88.0% → 82.5%)
6. 学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。(90.0% → 85.0%)
7. 学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。(66.7% → 56.1%)
8. 教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。(82.0% → 82.9%)
9. 施設・設備について日常的に点検や管理が行われている。(70.6% → 70.7%)
10. いじめ(疑いを含めて)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。(88.2% → 84.6%)

* 質問1、2、4、7の下降が目立つ。コロナ禍の下、コミュニケーションの機会が減少している影響も少なくはないと思われる。課題を各自が認識し、その解決と先への発展につながる見通しを持って業務にあたる姿勢がさらに必要であると思われる。質問3については授業に関わる校内研修の実施とそれを実際の授業に生かしていく体制が定着してきていることを示していると思われる。また、質問6についてはコロナ禍の影響の中、限られた条件にどのように対応するかを検討してきた姿勢が評価されたものと思われる。質問4、7の減少については校内で分析の必要がある。

2. 保護者アンケートの集計結果

・保護者アンケートについては全体的には前年比で大きな数値の変動は見られなかった。全体の数値の平均は昨年度とほぼプラスマイナス0であった。

(1)分析の概要 質問のうち3項目で数値が前年比で5ポイント程度上昇した。

1. 子どもは学校に通うのが楽しいと言っている。(昨年度 85.0% → 今年度 79.5%)
2. 子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。(63.2% → 63.8%)
3. 学校の生徒指導の方針に共感できる。(79.1% → 74.4%)
4. 学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。(78.7% → 82.9%)
5. 学校は、保護者の相談に適切に応じてくれる。(81.1% → 84.6%)
6. この学校の部活動は活発である。(89.4% → 89.0%)
7. 学校は子どもに生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を育てようとしている。(87.6% → 86.5%)
8. 先生は、すべての教育活動において、生徒の人権を尊重する姿勢で指導に当たっている。(80.6% → 79.1%)
9. この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。(64.7% → 42.1%)
10. 学校は教育情報について、提供の努力をしている。(85.7% → 87.2%)
11. 学校はいじめなど子供が困っていることがあれば真剣に対応してくれる。(81.3% → 82.8%)

*全体としてほぼ横ばいの数値である項目が多いが、質問1の数値が減少しているのは気がかりである。9については、コロナ禍の影響で、体育祭や文化祭といった学校行事に保護者が参加できなかったことが大きい。また、質問2, 4, 5, 11に関して少しでも数字が上昇したことは喜ばしいことであり、その上昇を継続させるような体制の維持と新たな取り組みを行っていくことが必要であろう。

3. 生徒アンケートの集計結果

(1)生徒アンケート 分析の概要 いくつかの質問で大幅な数値の下降が見られたことは今後の課題であろう。

1. 学校に行くのが楽しい。(昨年度 78.5% → 今年度 75.9%)
2. この学校には他の学校にはない特色がある。(59.9% → 58.0%)
3. 授業が楽しくわかりやすい。(54.5% → 55.9%)
4. 教材や教え方に ICT(パソコンやプロジェクター等)も含めて、様々な工夫をしている先生が多い。(89.1% → 89.7%)
5. 授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある。(63.6% → 83.7%)
6. 復習などを中心とした宿題の量は適切である。(73.1% → 75.6%)
7. 理解度に応じて補習や講習が行われている。(54.3% → 61.4%)
8. 学校生活についての先生の指導は納得できる。(57.1% → 56.4%)
9. 将来を考えると、校則はほぼ適切だと思う。(56.3% → 50.7%)
10. 先生は、いじめなど生徒が困っていることがあれば真剣に対応してくれる。(80.4% → 80.7%)
14. 将来の進路や生き方について考える機会がある。(88.5% → 88.5%)
15. 将来の進路はだいたい決めている。(65.2% → 70.9%)

16. 自分の将来の進路決定に際して、本校の専門コースが役立っていると思う。(67.6% → 67.0%)
17. 進路説明会、大学見学、企業見学など進路選択に関して学ぶ機会がある。(72.9% → 71.6%)
18. 命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。(81.2% → 85.7%)
19. 学校全体として、部活動は活発だと思う。(90.9% → 89.0%)
20. 体育祭・文化祭など学校行事は楽しく行えるよう工夫されている。(85.7% → 84.3%)
21. 自習室、図書室等の開室がされていて、学習する環境が整っている。(92.1% → 94.1%)
22. 学校は、清掃活動が行き届いていて清潔である。(48.9% → 49.9%)

*全体として数値が下降しているのは質問9で、一定数字を受けて議論していく必要がでてきているかも知れない。質問5の数値が大きく上昇しているのは、来年度から導入される観点別評価を踏まえての授業改善が一定の成果を上げてきていることの表れであると言えるだろう。7の数値については、放課後時間の活用について、各学年各教科で時間を割いて行われる学習指導が盛んになってきていることがうかがえる。質問22については数字が低く留まっている傾向が続いており、老朽化の問題もあるが、清掃の徹底などで改善していくことのできる余地はあると思われる。

4. 自由記述部分について

保護者、生徒、教員からは自由記述による意見も多数寄せられた。すべての意見について、次年度以降に役立てられるように、職員会議で共有した。